

あさぎり町立須恵小学校便り 7号 令和元年5月28日

発行者 東 誠志

感気持進

5月

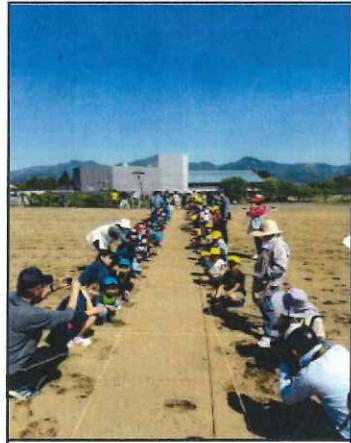
《新企画》これから毎回、私の心に残る言葉を紹介していきます。

教えるとは希望を語ること。学ぶとは誠実を胸にきざむこと。

ルイ・アラゴン（フランスの詩人）

和綿の種まき！

21日（火）の午後2時から、総勢217人で約17,600個の種をまきました。須恵出身の高校生が、会の司会や植え方の説明をしてくれました。本校6年生は、お土産渡しでも活躍しました。たくさん取材もあり、新聞や町の広報誌等で紹介されることと思います。それでも、なんと大掛かりなプロジェクト！とにかく、すばらしいと感じました。4年生は、東京で和綿を育てている学級と交流もしていきます。



圧巻の景観！

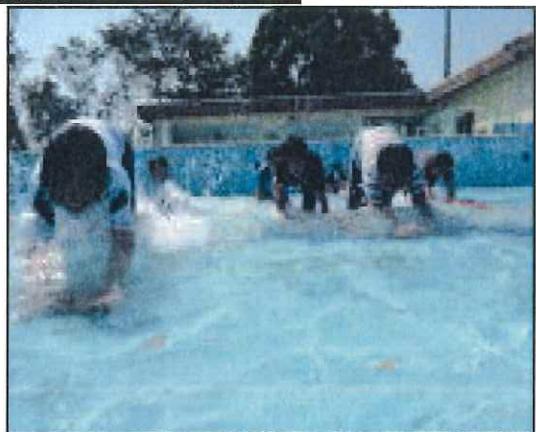
地域の人とともにを行う活動は、児童らの心に思い出として残るとともに、いろいろなことが周りの人々の協力と善意によって成り立っていることを学ぶことで、ふるさとはもとより、どこの地域で暮らすことになっても、その地域のために活動する（愛する）心を育てる信じます。関係の皆様、本当にお世話になりました。須恵小児童は、またまた豊かな学びをしました。



心を込めて

プール掃除実施。もうすぐ水泳の学習開始です！！

24日（金）に行いました。水泳の学習が、いよいよ近づいてきました。子供たちはとても楽しみにしていることと思います。職員2人以上で水泳学習を実施するなど、事故がないよう職員一同緊張感を持って取り組んでいきます。学校では、水泳学習で水に親しますが、下校後や休日等に子供だけで水に親しむのは危険です。学校でもしっかり指導します。重ねてご家庭でのご指導も、どうぞよろしくお願ひいたします。



プールの底拭く6年生